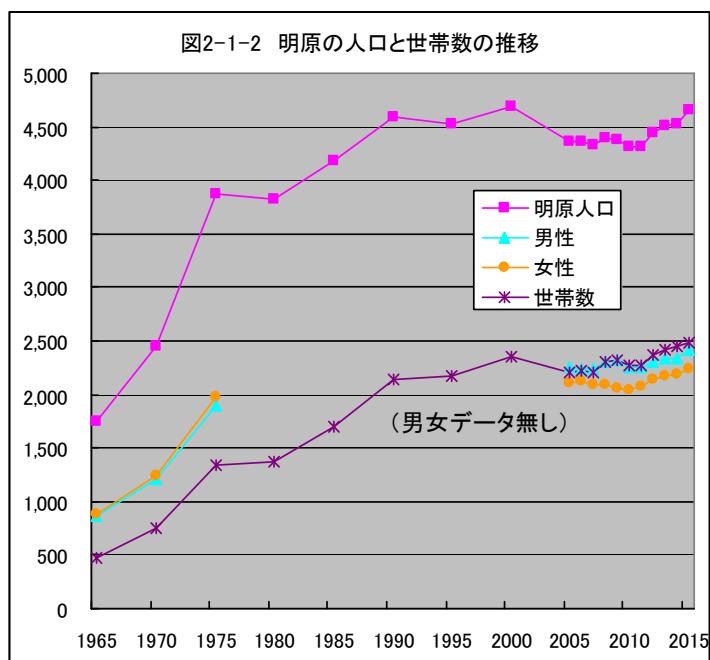
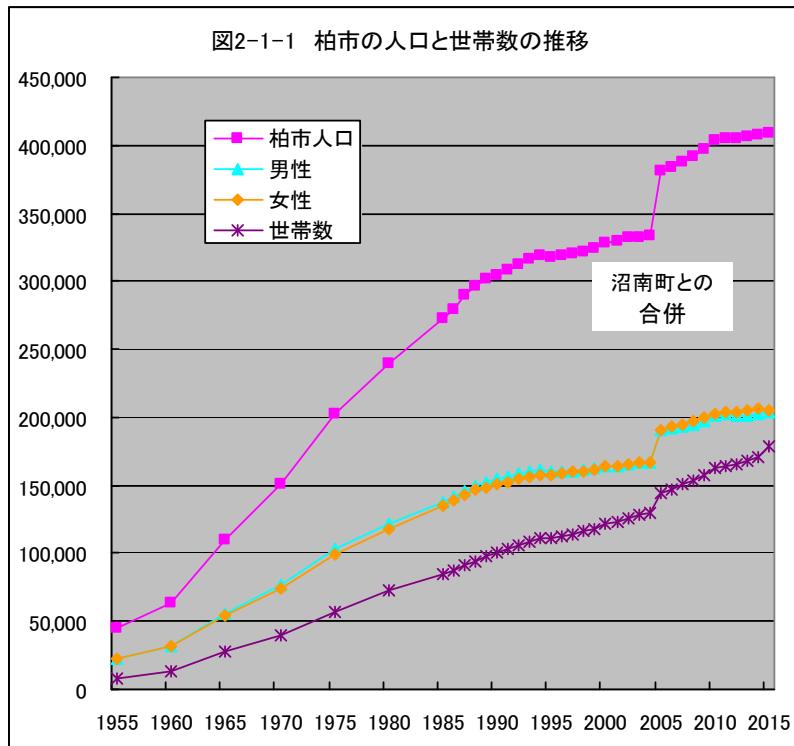


2. 柏市と明原の人口の推移

柏市と明原の人口と世帯数は、柏市のホームページに掲載されている値と、国勢調査の報告書のデータを併せたものです。柏市の人口は、昭和 30 年代（1955 年）頃から急速に増加しました。一方、明原の人口は、昭和 50 年（1975 年）頃まで急増しており、その後は微増、若しくは、4,500 人前後で横ばいとなっています。



後述するように、明原地区の区画整理が昭和 30 年代初めから昭和 45 年にかけて

実施され、宅地化が進んだことで人口が急増しました。

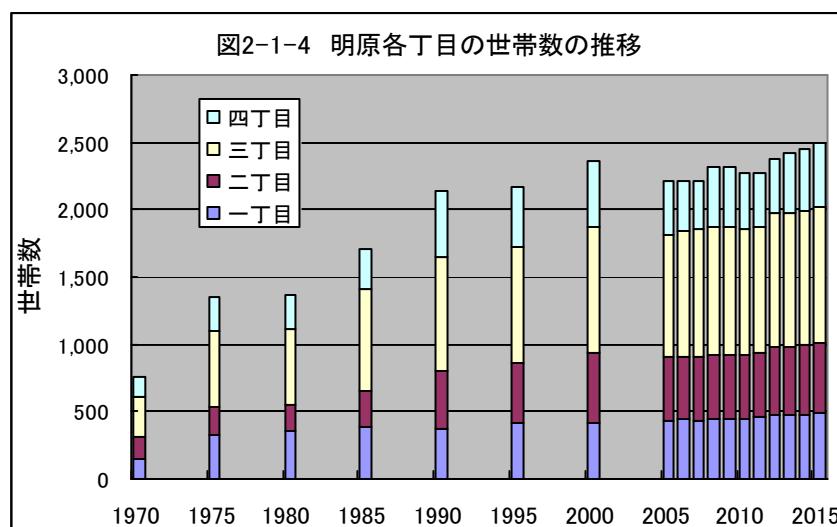
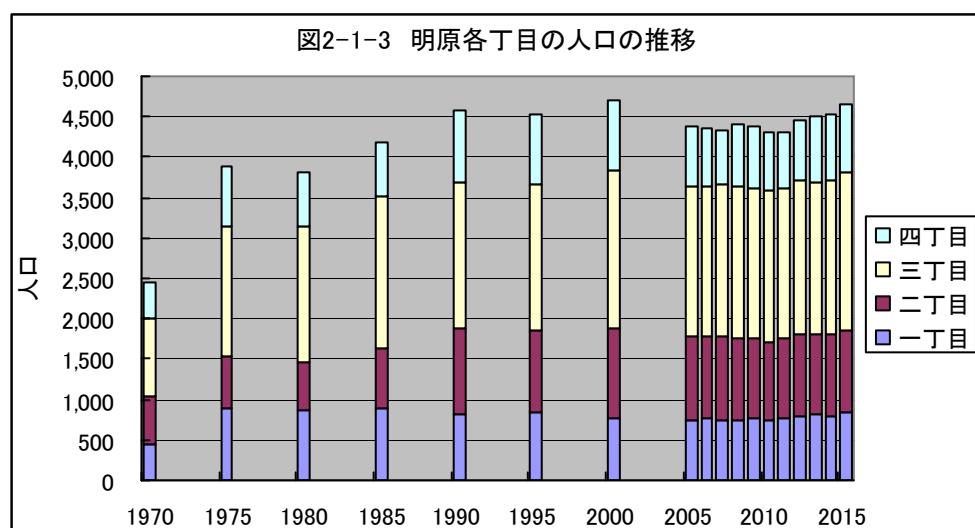
明原の世帯数も、人口とほぼ同様の変化をしており、2015年の世帯数は約2,500です。因みに、世帯当たりの平均人数は、1965年には3.7人でしたが、1985年には2.5人、2005年には2.0人と低下しており、核家族化が進展していることが分かります。最新の2015年の値は、2人を下回っており、独身者向けアパートが増加したことを反映したものと思います。

<1~4丁目の状況>

区画整理が始まる昭和30年代以前は、3丁目地区は畠や林・草原が多くを占めており、人口データは見つかりませんでしたが、人口が少なかったことは明らかです。

1970年には、明原の総人口は2,445人で、そのうち3丁目が最多で、全体の39%を占めています。2丁目がそれに続き、1丁目と4丁目はほぼ同程度の人口でした。

最新の2015年の明原の総人口は約4,650人で、1丁目が18%、2丁目が22%、3丁目が42%、4丁目が18%となっています。



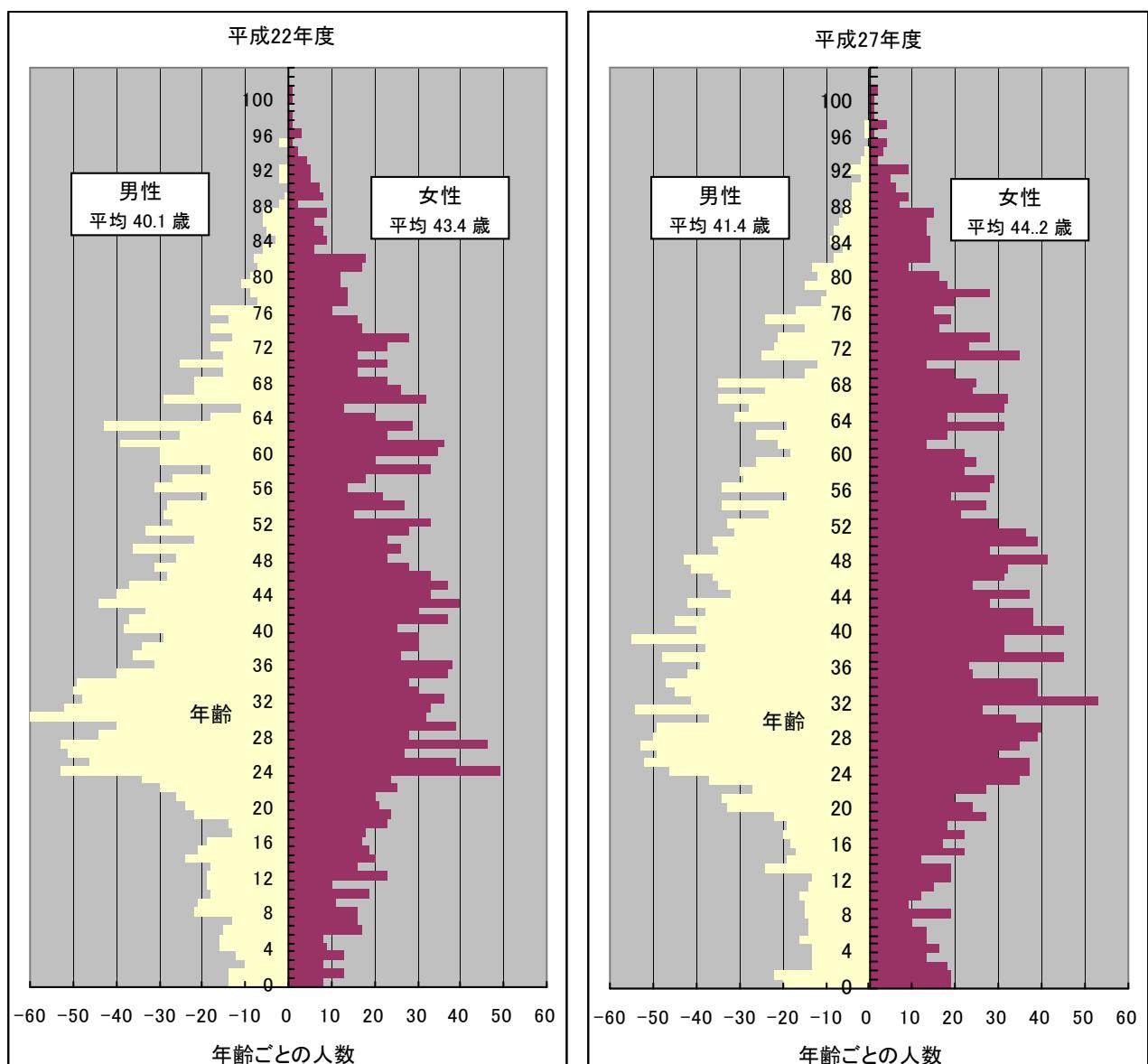
一方、2015年の明原の総世帯数は2,489で、そのうち1丁目が20%、2丁目が21%、3丁目が41%、4丁目が18%で、人口比率と少しだけ違っています。これは、1丁目に独身者向けアパートが増加した影響と思われます。

＜明原の人口ピラミッド＞

明原でも高齢化の進展が気になるところです。図2-1-5は、柏市役所のウェブページに掲載されている「大字町丁、年齢、男女別住民基本台帳人口」エクセル・データを用いて作成した年齢ごとの人口分布「人口ピラミッド」です。平成22年と27年の10月時点に、住民基本台帳に登録されている明原1～4丁目の人口に基づいています。

図2-1-5 明原の男女別年齢-人口分布

出所：柏市住民基本台帳人口エクセルデータで作成



明原の人口ピラミッドでは、男女とも30歳前後が最多の人口帯になっています。

グラフに併記した平均年齢で、女性の方が平均年齢が高いのは、女性のほうが長寿であるためでしょう。

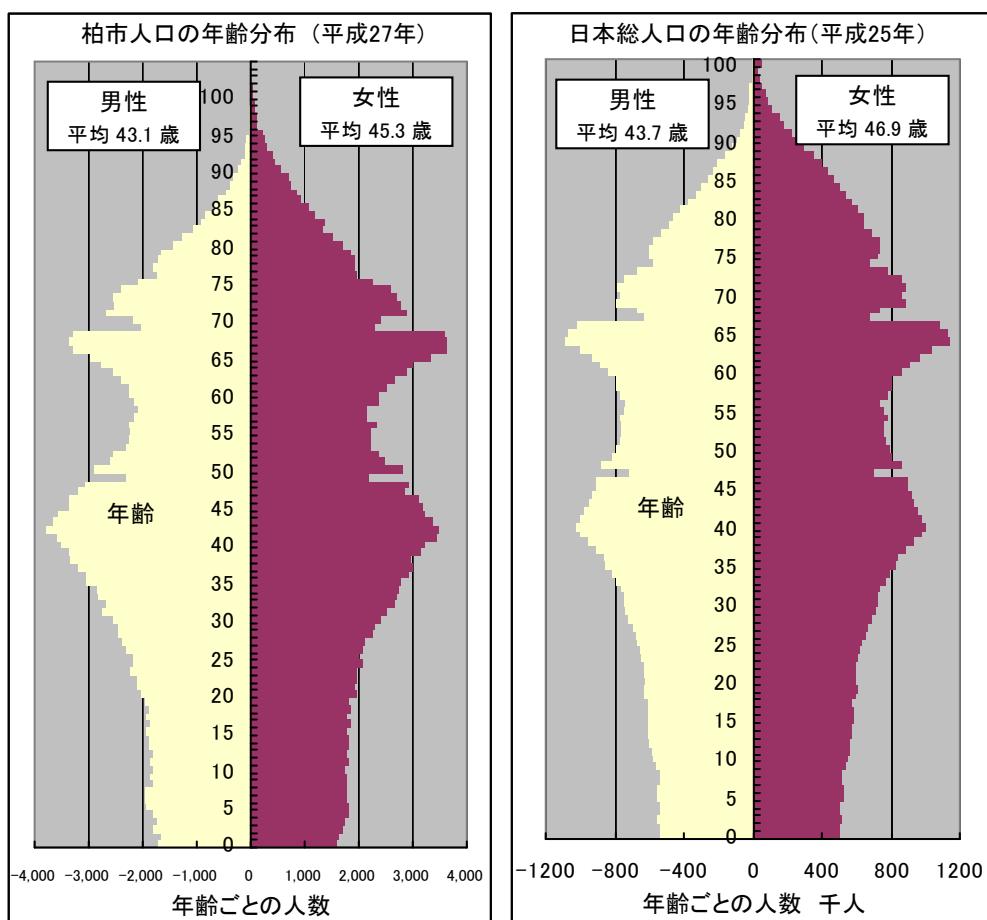
平成 22 年と 27 年を比較すると、後者の平均年齢は、男性で 1.3 歳、女性で 0.8 歳高くなっています。明原でも高齢化が進んでいるためだと思います。しかし、5 年の経過に対し、平均年齢は 1 歳前後しか高くなっています。町内に新たに若い人が加わっているためだと思います。

＜柏市・日本全体との比較＞

参考として下記に、柏市全体や日本総人口の人口ピラミッドを示しました。前者は平成 27 年、後者は平成 25 年のデータです。それと比べ、明原の平均年齢は、男女共に 2 歳ほど低くなっています。また、柏市全体などの人口ピラミッドと比べ、前記の明原の人口分布は、60 歳台半ばの人口ピークが少し低くなっています。

なお、柏市史年表の昭和 52 年 9 月の事項に、国勢調査の結果の柏市民の平均年齢は 28.2 歳とあり、その後、ずい分高齢化が進んだことが分かります。

（参考）柏市と日本総人口の年齢分布



明原は東京への通勤の利便性が高く、子供の世代も明原に住み続けている世帯が多いことが、平均年齢上昇を抑えることにつながっていると考えられます。加えて、近年、町内に単身者向けアパートが建設され、学生や若い独身者が増えており、皆が住民登録をしている訳ではないかもしれません、そのことも町内の高齢化の抑制に寄与していると思われます。